

第2学年 体育科学習指導案

令和5年9月13日（水）5校時 体育館
第2学年3組 30名
授業者

研究主題：わかる喜び、できる喜びを味わい、主体的に運動に取り組む児童の育成

1 単元名 体づくり運動「多様な動きをつくる運動遊び」
『にじっこランドへ レッツゴー！』

2 運動の特性

- 体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きを知り、様々な基本的な動きを楽しく経験し、身に付け、動きの幅を広げることができる運動遊びである。
- 他の領域では取り扱いにくい様々な動きを含んだ運動遊びである。

3 単元の目標

知識及び運動	運動遊びの楽しさに触れ、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きの行い方を知ると共に、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりできるようにする。
思考力・判断力・表現力等	多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

4 単元の評価規準と活動に即した評価規準

観点	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりしようとしている。 ・体のバランスをとる動きや、体を移動する動き、用具を操作したり力試しをしたりする動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 場や用具の使い方を理解している。 ② 多様な動きをつくる運動遊びのそれぞれの行い方を理解している。 ③ 伸び伸びと体を動かす楽しさや心地よさを味わい、心や体の変化に気付いている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・運動する場や使用する用具を変えながらいろいろな運動の仕方を見付け、楽しくできる運動遊びの行い方を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、工夫した遊び方を伝えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 今までの経験や、友達の動きを見たり友達から行い方を聞いたりして、できそうな運動遊びを見付けている。 ② より楽しい運動遊びができるよう行い方を工夫している。 ③ 活動を振り返り、友達のよい動きや、工夫した遊び方について伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・順番やきまりを守り、誰とでも仲良く運動しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 多様な動きをつくる運動遊びに進んで楽しく取り組もうとしている。 ② 友達と仲良く運動したり、順番を守ったり、運動を行う上でのきまりを守ろうとしたりしている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力して、使用する用具の準備や片づけをしようとしている。 ・運動する場や用具の使い方などの安全に気を付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ③ 自分の分担されている用具の準備や片づけをしようとしている。 ④ 運動する場を横切らずに歩いたり、周りとおぶつからないように間をあけたり、安全を守ろうとしている。
--	---	---

5 児童の実態と教師の願い

(1) 児童の実態

・意識調査（質問紙） ※単位は「人」

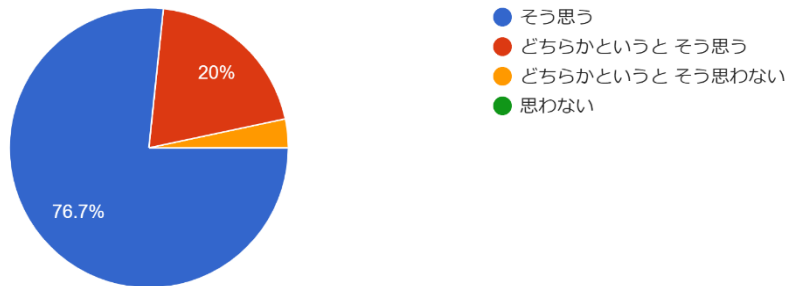
①調査時期 令和5年5月

②調査対象 練馬区立光が丘春の風小学校 2年3組 29人

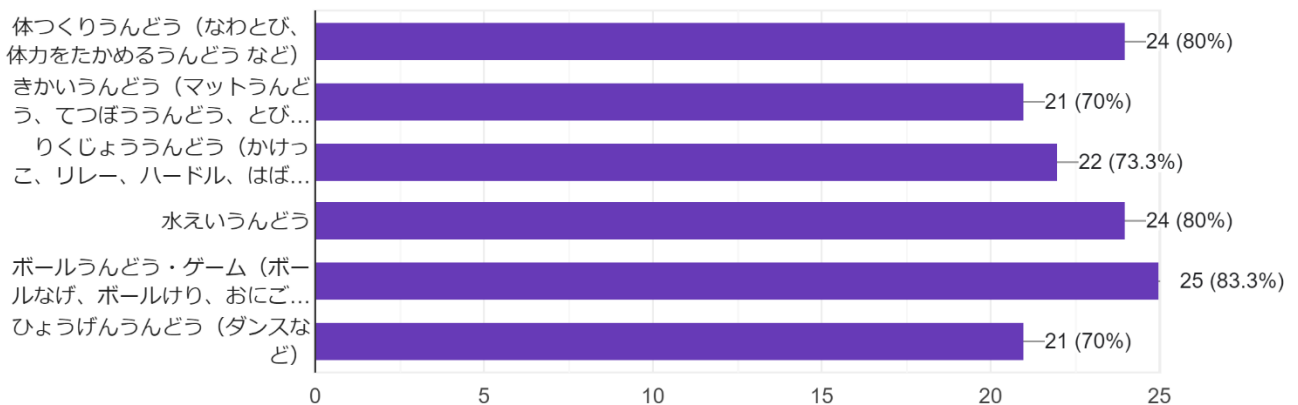
③意識調査集計結果

(2) 結果と考察

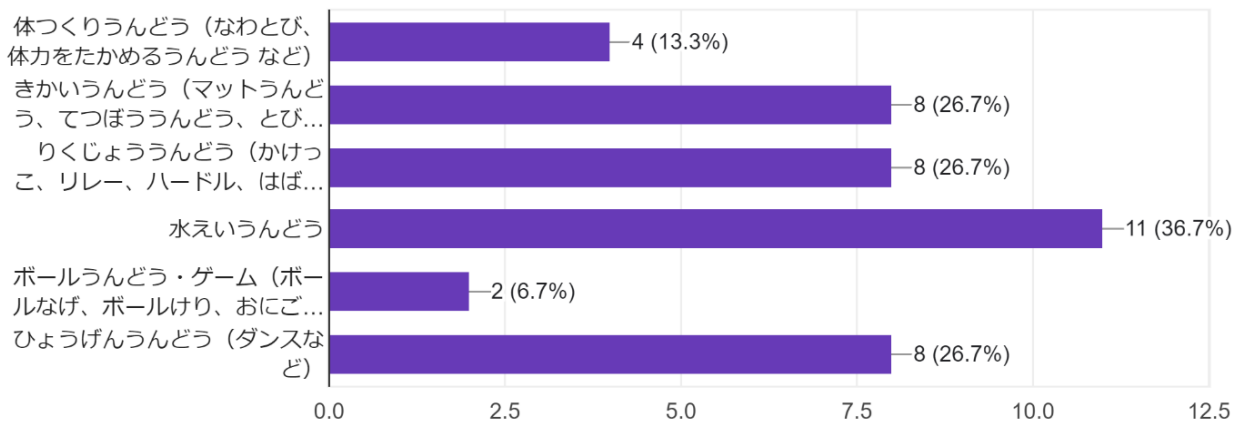
問2 体育の学習は、好きですか。



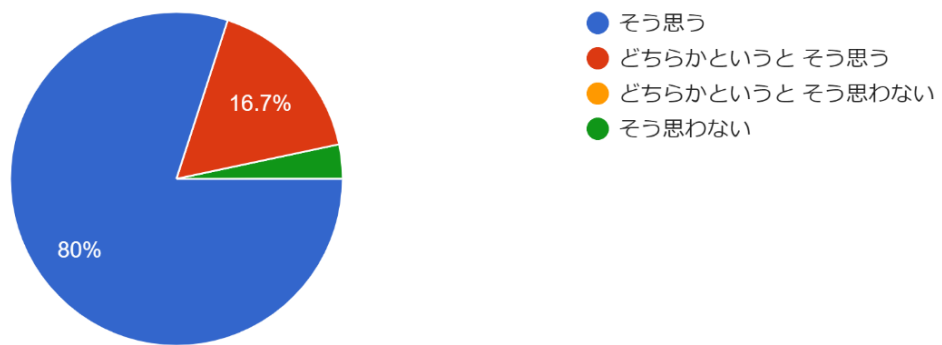
問3 体育の学習で、好きなものはなんですか。（複数回答可）



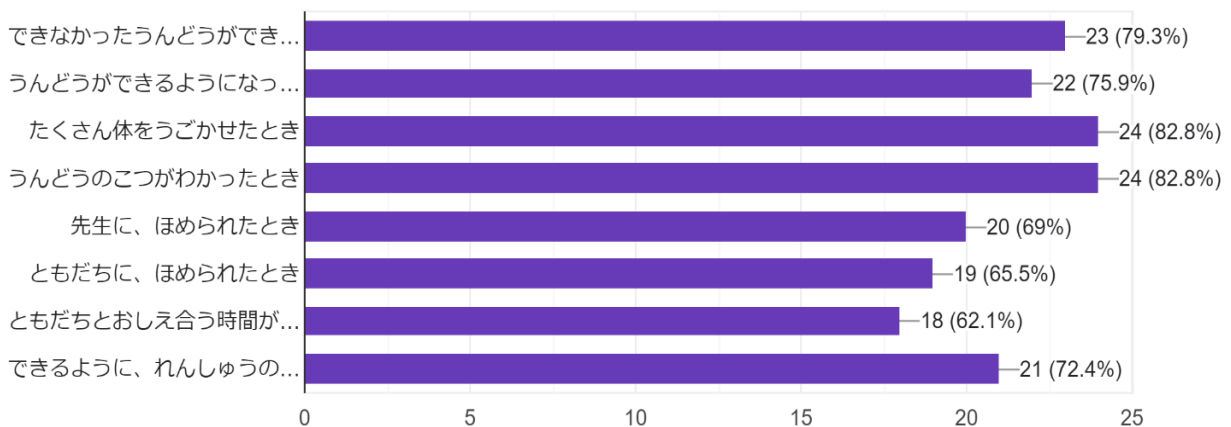
問4 体育の学習で、苦手なものは何ですか。（複数回答可）



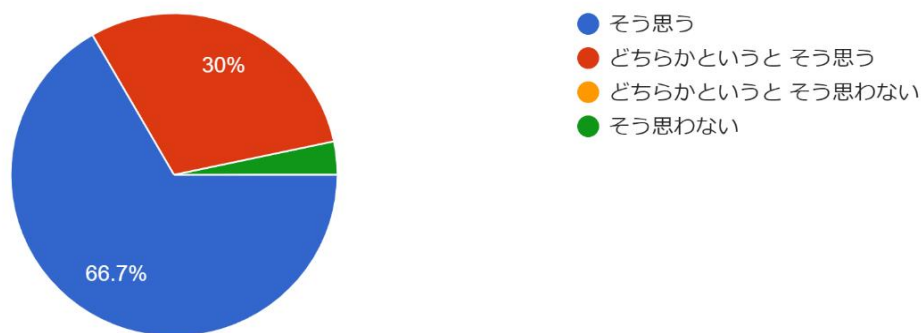
問5 体育の学習は楽しいですか。



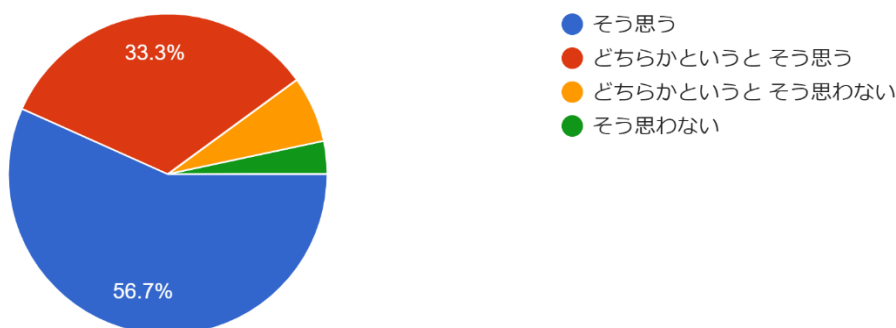
問5—① 「体育の学習は楽しい」に「そう思う」と、答えた人に聞きます。
どんなときに楽しいですか。（複数回答可）



問6 体育の学習で、友達と仲良く協力して運動することができていますか。



問8 体育の学習で友達の良いところを伝えたり、友達のコツを聞いたりして声を掛けて運動することができていますか。



《実態調査結果から分かること》

問2. 本学級のほとんどの児童が体育の学習を肯定的に捉えている。(約77%)

一方で、否定的な児童もいる。(約23%)

問3. 体育の学習を肯定的に捉えているため、どの領域も学級の3分の2の児童が好きだと回答している。

問4. 一方で、苦手な領域は、水泳運動が一番多かった。これは、昨年度体育の学習の実施回数が少なかったためとも言える。

問5. 「体育の学習が楽しいですか」では、肯定的な回答が多い。(97%)

中でも「たくさん体が動かされたとき」「運動のコツが分かったとき」「できなかった運動ができるようになったとき」「運動ができるようになったとき」に体育の学習が楽しいと感じている児童が多く、運動ができる喜びを味わっていることが分かる。一方で、「友達にほめられたとき」「友達と教え合う時間があつたとき」の回答数が低く、友達と一緒に学び合うことの楽しさを味わえていないことが分かる。

問6. しかし「友達と協力して運動することができていない」と感じている児童もいる。

問8. 「友達の良いところを伝えたり、友達のコツを聞いたりして声を掛けて運動することができていますか。」の回答では、否定的な意見が10%もいた。

(3) 教師の願い

○体を動かすことの心地よさを感じ、笑顔で伸び伸びと体を動かしてほしい。

○友達の良い動きを見付けたり、自分が発見したことを伝えたりすることを通して、友達と学ぶ楽しさを実感してほしい。

○多様な動きをつくる運動遊びを経験する中で、他の領域や日常生活で経験しにくい様々な体の動かし方を知り、やってみて「できた」をたくさん経験してほしい。

6 研究主題に迫るための手だて

(1) 指導計画の工夫

◇単元設定の工夫

単元名を「にじっこランドへ レッツゴー!」として、児童へ楽しい雰囲気がつくれるようにした。単元で学習する内容を図にした掲示物（ランドマップ）を提示し、学習の見通しがもてるようにした。ランドマップは、単元を通して活用することで、児童の「やってみたい」という学習意欲が続くようにした。

2、3学期の終わりには、各単元で経験した動きを振り返る「にじっこすごろく」を3時間計画している。各遊びができるコーナーを設け、児童がより楽しい遊び方を工夫したり、友達と学び合ったりできる時間とする。

◇準備運動とムーブタイム

ムーブタイムは、本時の主となる運動遊びにつながる動きや、前時の学習の動きを取り入れた。音楽や歌あそびを活用し、歌の中に身に付けさせたい動きの要素を入れて、リズムに合わせる楽しさなどを味わいながら動けるようにした。準備運動の音楽を流したままムーブタイムに入ること、活動のつながりをスムーズに行えるよう工夫した。

また、ムーブタイムでは、ペアでやる動きを多く取り入れ、友達と一緒に体を動かす楽しさを感じられるようにした。

◇おためしタイム

教師が提示したおすすめ動き（主となる基本的な動き）を児童がたくさん試し、できる動きを増す時間としておためしタイムを設定した。児童が安心して運動することができるように、誰でも取り組める易しい動きから始めるようにする。「遊び」の要素を多く取り入れ、楽しみながら体をたくさん動かせるようにする。

◇はっけんタイム

おためしタイムでやってみて気付いたことを伝える時間としてはっけんタイムを設定した。ここでは、児童が発見した動きのポイントや遊び方（行い方の工夫）を取り上げたり、よい動きの友達を紹介し、称賛したりして、全体に広げられるようにする。

工夫の視点（姿勢や方向、人数、用具）は、児童の動きや発見から取り上げ、提示していく。

◇チャレンジタイム

はっけんタイムで共有した動きのまねをしたり、さらに自分で工夫した動きに取り組んだりする時間としてチャレンジタイムを設定した。遊ぶ時間を十分に確保できるようにする。おためしタイムで知った動きよりもより楽しめる多様な動きを工夫する時間とする。工夫しながら体を動かすことで、児童に「やってみて楽しい。」「発見したことを伝えたい。」という思いをたくさんもたせ、友達と伝え合ったり認め合ったりすることができる学び合いの場にもしていく。

◇振り返りの重視

今回は、学習カード（自己のめあてと自己評価の）と体育ノート（記述）の2つを用意し、振り返りができるようにした。

本時の学習を振り返り、児童が感じたことや思ったことは、体育ノートに書くようにする。児童同士の関わりや、児童のできたこと、頑張っていることを知り、次時の指導にいかしたり、価に活用したりする。

学習カードや体育ノートは、年間を通してファイリングし、年度末に児童一人一人が自己の成長を振り返られるようにする。

(2) 指導方法の工夫

①対話的な活動の取り組み

◇友達と学び合う時間の確保

2学期から、ペアでの活動を学び合い毎時間取り入れ、児童同士のかかわり合う機会を意図的に設けるようにする。友達と学び合う時間を確保し、友達の動きをまねる・友達のよい動きを見付ける・動きのこつを自分の動きに取り入れる姿を目指したい。そのために、友達と協力して活動している児童を積極的に称賛し、価値付けていくようにする。

②言葉掛け

称賛の言葉掛けには、児童が前向きに運動に取り組むための多くの価値をもつ。教師が、積極的に発問や言葉掛けをしたり、進んで言葉掛けしている児童を称賛したりすることで、より児童同士の言葉掛けからの学び合いが活発になると考える、

今回は、主に「やってみたい」「できるようにになりたい」と児童が思える動機付けにつながる言葉掛けを取り上げる。

〈児童の取り組む態度に着目した言葉掛け〉

「協力して準備ができていいね！」
「すぐに片付けられて素晴らしい。」
「早速やっていて、いいね！」
「すごい！もうやってる！」
「そんな動きもできるんだ、いいね！」
「何回もチャレンジしてて、すてき！」
「〇〇さんは、□□にチャレンジしていていいね！」

〈多様な動きを引き出す言葉掛け〉

「フープを使って、どんなことができるかな？」
「どんなことやってみたいかな？」
「どうしたら（より）上手にできるかな？」
「上手にできるこつはあるかな？」
「やってみてどうだったかな？」
「次はどんなことやってみたいかな？」

〈児童同士のかかわり合いを促す言葉掛け〉

「〇〇さんの動きがおもしろそうだからやってみない？」
「友達のまねしてやっても面白いね！」
「その動きいいね。どうやってやるの？」
「〇〇さんのどんなところが上手かな？」
「友達といっしょにできるかな？」
「みんなでやったらおもしろそうだね！」

学期	1 学期				2 学期				3 学期										
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 (本時)	11	12	13	14	15	16	17	18	
	学習 活動	1 体ほぐし 2 1 整理・挨拶 3 本時のめあてを知る。 4 おたためしタイム 5 ラインでタップ、早歩き、カメ歩き 6 新聞紙であそぼう 7 ・かけっこ、ぐるぐる 8 からクロー、陣取り 9 ゲーム 10 なべなべそこねけ 11 5 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし	1 整理・挨拶 2 本時のめあてを知る。 3 準備運動 4 ムーブアップタイム 5 ・じゃんけんタイム 6 ・じゃんけん列車 7 体ほぐし 8 5 おたためしタイム 9 ・じゃんけんタイム 10 ・じゃんけん列車 11 6 はっけんタイム 12 整理運動 13 学習の振り 14 場の片付け 15 1 整理、挨拶 16 体ほぐし		
運動が苦手な児童への配慮例	◎はじめは、易しい動きから取り組めるようにする。関連する動きをムーブアップタイムに取り入れる。 ◎動きのポイントについて言葉掛けをする。行い方(姿勢・方向・人数・用具)を工夫したり、運動遊びのこつをつかんだりして子供を紹介する。 ◎友達の写真(イラスト)を使い、一緒に取り組むことを促し、体の動かし方が分かるようにする。 ◎動きが上手な友達から、苦手を友達から、苦手を操作することが苦手の児童には、用具の大きさや重さを変えて操作しやすくする。 ◎回す、転がすなどの用具を操作することが苦手の児童には、用具の大きさや重さを変えて操作しやすくする。																		
学習活動に即した評価規準	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③

8 本時（全18時間中の10時間目）

(1) 本時の目標

【知識及び運動】多様な動きをつくる運動遊びのそれぞれの行い方を理解している。

【思考力、判断力、表現力等】友達のよい動きや、工夫した遊び方について伝えようとする。

(2) 本時の展開

学習内容・学習活動	教師の支援○ 評価★ 評価方法【 】
<p>1 整列・挨拶をする。</p> <p>2 学習内容の確認、本時のめあての確認をする。</p> <p>・自分のめあてを考える。</p>	<p>○学習の見通しをもたせるために、地図や本時のめあてを掲示する。</p>
<p>くるくる、コロコロ、いろいろな動きを楽しもう。</p>	
<p>3 準備運動をする。</p> <p>(♪ツバメ)</p> <p>ムーブタイムで「バランスをとる運動遊び」に取り組む。</p> <p>・体じゃんけん3秒ポーズ</p> <p>・幸せなら手をたたこう</p>	<p>○曲に合わせて体を動かして体の部位をほぐせるようにする。</p> <p>○動きのこつを意識的に言葉掛けする。</p>
<p>4 「バランスをとる運動遊び」に取り組む。</p> <p>・回るなどの動きやバランスを保つ動き</p> <p>★おためしタイムに取り組む。(知る時間)</p> <p>「くるくる バランス」</p> <p>★はっけんタイム(共有する時間)</p> <p>★チャレンジタイム(広げる時間)</p> <p>「くるっとじゃんけん」</p>	<p>○安全を確保するために、十分な間隔があるかなどを確認する。</p> <p>○やってみたい動きを見付けたり、様々な動きを試したりする児童を称賛する。</p> <p>○よい動き(姿勢・方向)を紹介し、広げられるようにする。</p> <p>○うまく回れない児童には、小さな動きから取り組ませたり、腕を大きく動かしたりすることを意識させたりする。</p>
<p>5 「用具を操作する運動遊び」に取り組む。</p> <p>・用具を回したり転がしたりする動き</p> <p>【フラフープ】</p> <p>★おためしタイムに取り組む。(知る時間)</p> <p>「コロコロ フラフープ」</p> <p>★はっけんタイム(共有する時間)</p> <p>★チャレンジタイム(広げる時間)</p>	<p>○前時の学習を振り返り、他にやってみたい動きを取り上げる。</p> <p>○安全を確保するために、友達との距離を意識させる。</p> <p>○うまく転がせない児童には、フープをまっすぐ立てることや、片手でおさえながらやさしくなでることを意識させる。</p> <p>○はっけんタイムで共有したことを、試している児童を称賛する。</p>
<p>7 整理運動をする。</p> <p>8 学習の振り返りをする。</p> <p>・学習カードで本時の振り返りを行い、発見したことや感じたことは、体育ノートに後で記入する。</p>	<p>★友達のよい動きや、工夫した遊び方について伝えている。 【観察・体育カード】</p>
<p>9 場の片付けをする。</p> <p>10 整列・挨拶をする。</p>	<p>○友達と協力して片付けできている児童を称賛する。</p>

9 成果と課題

(1) 成果

①「指導計画の工夫」

- ・「にじっこランドへ レッツゴー！」という単元名とランドマップは、児童が楽しみながら主体的に運動遊びに取り組むうえで有効であった。
- ・ムーブタイムでは、音楽や歌遊びを活用したことで、児童がリズムに合わせる楽しさを味わいながら体を動かす姿が多く見られ、有効であった。
- ・準備運動の音楽を流したままムーブタイムに入ることによって活動のつながりをスムーズに行うことができた。
- ・「おためしタイム」は試す時間、「はっけんタイム」は気付く時間、「チャレンジタイム」は友達の真似をしたり、新しい動きに挑戦したりする時間と明確にしたことで、児童が見通しをもって学習することができた。
- ・「おためしタイム」では、遊びの要素を多く取り入れたため、特別な支援を要する児童もすすんで体を動かし、楽しむことができ、意欲の高まりを感じられた。
- ・学習カードと体育カードの2つを用意したことで、振り返りの時間を短縮することができ、運動する時間を十分に確保することができた。
- ・体育ノートでは、観察だけでは見取れない児童の気付きや、考えを教師が知ることができ、自身の授業改善に役立てられた。また、児童の思考を見取り評価する際にとても有効であった。

②「指導方法の工夫（対話的な活動に取り組み、言葉掛け、学習の場）の工夫」

- ・グループの編成では、運動が得意な子と運動に消極的な子を同じグループになるようにしたことで、「上手だね。」や「こうするとたくさん回るよ。」など対話しながら学び合う姿が見られた。教え合ったり励まし合ったりすることを通して、児童一人一人の動きを広げることができた。

(2) 課題

◇「指導方法の工夫」

- ・教師から動きの質を高めるような言葉掛けが多くあったが、多様な動きを引き出す言葉掛けが少なかった。本時のねらいを達成するためには、もっと多様な動きを引き出すような言葉掛けを増やした方が良かった。
- ・本時の「多様な動きを広げる」という目標を児童にも分かりやすく示した方が良かった。ホワイトボードを上手く活用し、児童が目で見えるような工夫が必要だった。

(3) 指導講評 講師：練馬区立旭町小学校 主幹教諭 長瀬 育先生

- 低・中学年で行われる「多様な動きをつくる運動（遊び）」は、将来の体力向上につなげるため、様々な体の動きを培う運動である。低学年は、児童が易しい運動に出会い、伸び伸びと体を動かす楽しさや心地よさを味わう遊びであることを強調したい。
- 低学年での「体づくり運動」は、動きのレパートリーを増やし、中学年ではその動きの質をより高めることをねらいとする。そのため今回は、レパートリーを増やすことをねらった教師の支援が多いと良かった。
- 動きの高まりを実感させるためには、その高まりに気付かせたり、それを価値付けたりする教師の言葉掛けが必要である。「称賛の言葉掛け」は、児童が自分の動きの高まりを感じ、励まされることでより意欲的に運動に取り組めるようにするために行い「動きのポイントを発見させる言葉掛け」は児童の運動を見る目を高めるために行う。意図のある質の高い教師の言葉掛けがとても大切である。
- 動きを高めるためには、動きの条件を変化させて運動に取り組ませるとよい。例えば、人数、方向、回数、高さ、姿勢、用具などの条件を加える。条件が変わっても基の動きができ、また、新たな動きのポイントを見付けながらできるようになることで、動きは高まっていく。

10 学習カード

にじっこランドへレッツゴー

名前 ()

1	月 日	めあて、 () 友だちとなかよくあそぶ。 () たくさんあそぶ。	いろいろなうごきをしたよ。 ◎ ○ △	はっけんしたことをつたえたよ。 ◎ ○ △	やくそくをまもってあそんだよ。 ◎ ○ △
2	月 日	めあて、 () 友だちとなかよくあそぶ。 () たくさんあそぶ。	いろいろなうごきをしたよ。 ◎ ○ △	はっけんしたことをつたえたよ。 ◎ ○ △	やくそくをまもってあそんだよ。 ◎ ○ △
3	月 日	めあて、 () 友だちとなかよくあそぶ。 () たくさんあそぶ。	いろいろなうごきをしたよ。 ◎ ○ △	はっけんしたことをつたえたよ。 ◎ ○ △	やくそくをまもってあそんだよ。 ◎ ○ △
4	月 日	めあて、 () 友だちとなかよくあそぶ。 () たくさんあそぶ。	いろいろなうごきをしたよ。 ◎ ○ △	はっけんしたことをつたえたよ。 ◎ ○ △	やくそくをまもってあそんだよ。 ◎ ○ △
5	月 日	めあて、 () 友だちとなかよくあそぶ。 () たくさんあそぶ。	いろいろなうごきをしたよ。 ◎ ○ △	はっけんしたことをつたえたよ。 ◎ ○ △	やくそくをまもってあそんだよ。 ◎ ○ △

体いくノート



名前 ()

○グループカラー、 { } ○ゼッケンばんごう { } ○メンバー、 { } { } { } { } { }	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
こんなことを書いてみよう！ できるようになったことはなにか？ はっけんしたことはあるかな？ くふうしたことはなにか？ 友だちのいいところは見つけたかな？ どうなうごきがあったのしかったかな？ つぎはどんなことをやって、 みたいかな？	月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()

にじっこランドへ レッツゴー


らんらんランド

けんけんば、
アニマルウォーク、




おとととランド

くるっとじゃんけん、
紙ざらコース、



フープランド

コロコロコーナー、
ぐるぐるコーナー、




ぜんぶのアトラクションを、
クリアできるようにがんばろう！




ボールランド

ボールはこび、



パワフルランド

まほうの じゅうたん、
かだめしコーナー、



にじっこ じょう